

## 平成29年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

# 「霧島市立陵南中学校」の実践紹介

### 目指す信頼される学校像

- 1 元気な声・あいさつ・歌が響きあう学校
- 2 清掃が行き届いたきれいな学校
- 3 学業と部活動に一生懸命取り組む学校
- 4 家庭・地域と連携し、愛される学校

### 年間活動計画

- 1 第1回（委嘱状交付）
  - ・ 委員会設置概要説明
  - ・ 学校経営説明
  - ・ 服務指導の年間活動説明
  - ・ 意見交換
- 2 第2回
  - ・ 学校評価説明
  - ・ 服務指導の実施状況説明
  - ・ 意見交換
- 3 第3回
  - ・ 今年度の反省と課題説明
  - ・ 次年度に向けての意見交換

### 構成メンバー（11名）

学校評議員，校長，教頭，  
学年主任，養護教諭



### 委員からの意見・要望

- ・ 生徒の朝夕のあいさつが、とても気持ちがいい。不審者対策にも役立っている。
- ・ ジオパーク学習や平和学習などの特色ある学校行事に、地域の自然や文化、人材をうまく活用している。
- ・ 毎回学校を訪問すると、設備が整理整頓されてきれいです。
- ・ 部活動等で忙しいのだと思うが、地域の活動や行事にあまり参加できていない実態がある。
- ・ 学校に足を向けない保護者とにかくアプローチして、学校への関心を高めるかが大切です。

## 信頼される学校づくりを目指した取組

**本校職員の目標： 自分のために、家族のために、同僚のために  
そして生徒143名、保護者、地域のために  
チーム陵南中 不祥事ゼロへの自覚を持った職員を目指して**

- 服務個人ファイルの活用  
その都度、服務通知文、新聞記事等を活用し、職員会議や職員朝会の場で指導を行っている。そして指導後は、必ず服務ファイルに綴じさせ、感想等を記入させている。年度当初には、「チーム陵南中 不祥事ゼロへの自覚」の読み合わせを全員で行っている。
- 全職員で分担する服務研修の充実  
＜外部講師による服務・マナー指導の活用＞  
外部の企業から講師を招聘して研修を行った。企業内での服務指導は、公務員とは異なる視点で行われている面があるのではないか、異なる職における指導内容から、参考になることが見つかるのではないか、という考えから実施した。講師は、鹿児島空港ビルディング(株)から招聘した。
- 交通手段チェックリストの活用  
宴会を含む会合の前日に必ず帰宅方法を確認している。飲む、飲まないを確認し、決して強くないように共通理解を毎回図っている。
- PTA活動の活性化
  - ・ PTA総務部(執行部)との連携強化(バザー活動の充実)
  - ・ 「おやじの会」の活動の推進(奉仕作業、緑門作り、門松作り等)
- 適正な勤務時間管理
  - ・ ノー部活動デー(定時退庁日)の実施

鹿児島空港ビルディング(株)の  
取り組み紹介



2017年8月1日 陵南中学校  
鹿児島県霧島市霧島1-1-1 霧島空港ビルディング



### 今後の課題

- 学校の組織力(チーム力)向上を目指した雰囲気づくり
- 学校行事等(県民週間を含む)への関心の高まりと来校者数の増加

# 平成29年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

## 「中種子町立中種子中学校」の実践紹介

### 目指す信頼される学校像

- ともに学び、高め合う学校
- 生命や人としての尊厳を大切にする学校
- 規律正しく、潤いのある学校
- 地域に開かれた学校

### 年間活動計画 年3回

- 第1回(6月): 学校経営方針, 委員会設置の趣旨, 服務年間指導計画, 授業参観等
- 第2回(11月): 取組報告, 中間評価と改善策, 授業参観等
- 第3回(2月): 取組状況報告, 年度末評価と次年度への改善策

### 構成メンバー 計8人

- 校区長(2人)・主任児童委員
- 小学校長・高等学校長
- P.T.A会長・校長・教頭



【ワークショップ型服務研修】

### 委員からの意見・要望

- 中学生のみなさんが、希望をもった学校生活を送ることが町民全体の願いです。
- 生徒が生き生きと学校生活を過ごしていることがよくわかります。町内の他校種の学校と共に、子どもたちを育てるような連携を望みます。
- 服務規律の厳正確保については、教師一人一人の当事者意識を高める必要があります。

## 信頼される学校づくりを目指した取組

- 本校職員の目標**
- 人間性豊かで信頼される教師
  - 専門職として、資質向上に努める教師
  - 協力して職責を果たす教師

### 服務規律の厳正確保及び学校における業務改善

- 1 服務年間計画の完全実施と時機を逃さない日常的な指導  
月例の服務指導の場の設定  
時機を逃さない指導(新聞記事の日常的な活用・校長室通信等)
- 2 研修方法の工夫(全職員で分担する服務研修)  
職員相互の話合い活動, 事例研究, ワークショップ型研修等  
(本年度はクライシスマネジメントの視点に立った事例研究を実施)
- 3 指導資料の工夫と服務ファイルの活用  
多様な指導資料の収集と提示・自作資料の充実  
「研修記録票」への職員及び管理職のコメント記載  
(服務ファイルによる双方向の指導の確認)
- 4 望ましい人間関係の構築による不祥事等の防止  
コミュニケーションの重要性について, 常に意識を喚起  
(職員間で・生徒に対して・保護者に対して)
- 5 学校における業務改善  
デジタルノートを活用した校務の効率化等

服務規律に関する研修記録

日 時	平成 年 月 日 ( )		時 分 ~ 時 分	
項 目	1 水かけ行為の根絶	2 飲酒運転の根絶・交通事故等の防止	3 体罰の禁止	4 セクハラ・パワハラ等の防止
	5 適切な勤務時間管理	6 事故事例の適正化と食品の管理	7 心身の健康の保持・増進	8 個人情報, 公文等の適正な管理
	9 その他の研修行為 ( )			
	10 その他 ( )			
形 態	1 職員会議	2 職員研修	3 職員例会	4 個人
方 法	1 口頭	2 資料	3 事例研究	4 協議
研 修 内 容				
所 見				
	研修者	指導者		

所見  
事例研究で演習を行ったが、どの項目も普段走れる可能性が高い内容であると感じた。普段から自分の言葉に気をつけて行動することはもちろん、話し合いを通じてより、組織として取り組むことの大切さを改めて感じた。  
話し合いがないと、理解が浅い。現場で実践してこそ  
という危機意識は、互いに高め、お互いに自分の役割を認識しあうことが大切。職員相互に連絡しあうことが、業務改善の鍵になる。普段の業務でも、チームワークを大切にする必要がある。

【「研修記録票」とコメント記載】

### 学校活性化のための諸方策

- 1 教育活動の充実及び積極的な公開
- 2 積極的な情報発信(学校だより・HP・ブログ等)
- 3 生徒及び職員の地域行事等への積極的な参加

### 今後の課題

- 望ましい人間関係の構築による不信感を招く指導や不祥事等の防止。
- 服務規律の厳正確保について職員の当事者意識を高める場の設定や研修方法の工夫。

# 平成29年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校 「和泊町立和泊中学校」の実践紹介

## 目指す信頼される学校像

- 生徒、職員一人一人が輝く学校
- 生徒が喜んで登校し、満足して下校する学校
- 花と笑顔が咲きほこり、環境が整っている学校

### 年間活動計画

- 第1回…委員会設置説明  
学校経営など
- 第2回…サービス指導取組  
学校評価など
- 第3回…活動反省、次年度へ向けて

### 構成メンバー

- 内部委員3人  
校長、教頭、教務主任
- 外部委員9人  
学校評議員8人（区長代表、各地域代表、PTA会長・副会長）、小学校長



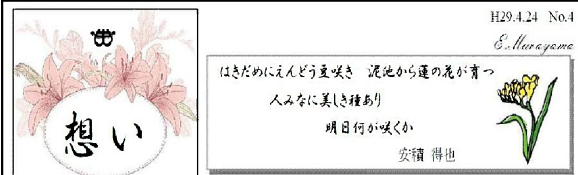
### 委員からの意見・要望

- 教育公務員としての自覚と自信を持って生徒の前に立ってほしい。
- 教員は生徒を授業内容等に引きつけ、教員自身を好きにさせること(信頼関係構築)が必要である。
- 委員として貢献したいので依頼事等遠慮なく言ってほしい。
- 教員同士でカラオケ等で発散することも必要だと思う。教職員の雰囲気作りが大切だと思う。
- 不登校等の課題に対して、関係機関との連携を図り、地域の教育力を活用してほしい。

## 信頼される学校づくりを目指した取組

### 本校職員の目標 〈チーム和泊の一員として気づき、考え、行動する教職員〉

- 1 同僚性の構築（お互いに支え合う教職員集団を作るために）
  - ・ 地区研究協力校・沖永良部秋季教育研究会会場校として、教職員の協働的な研究・実践の推進
  - ・ 校長室だよりによる教職員の資質の向上と服務規律の厳正確保（右図 校長室だより「想い」）
  - ・ 教職員間相互のコミュニケーションの活性化
- 2 地域に開かれた学校づくり
  - ・ 保護者、地域の方々を学校へ（学校行事、ジャガイモの植え付け・収穫）
  - ・ 学校職員を地域へ（小学校・高校の運動会・体育祭、町・集落の行事）
- 3 個人ファイルの活用
  - ・ かねてからサービスを意識するための校長室だよりの発行と指導資料等のファイルへの整理と活用
- 4 サービス指導（研修）の工夫
  - ・ 演習の事例を教職員が分担して実施（8月の不祥事防止強化月間）
  - ・ 安全指導係による島内の道路事情研修（12月の不祥事防止強化月間）



#### 教職員の信用失墜行為

- 1 飲酒運転及び酒気帯び運転の根絶（飲酒した翌朝の酒気帯び運転には細心の注意）
- 2 体罰の禁止（教え諭す立憲）
- 3 交通事故（特に加害者）及び交通違反の防止
  - 速度超過、信号無視、一時停止違反、携帯電話等の使用
  - 無事故・安全運転は法令遵守と時間・空間・心の余裕から！
- 4 わいせつ行為、セクシャル・ハラスメント、異性間の問題など
- 5 学校盗難事故、金品に関わる問題
- 6 人権同和教育の意識（一言一句を噛みしめて）

4月に入ってから地区内で、交通事故2件、  
交通違反1件発生

#### ☆「交通法規の遵守」セリフチェック

番号	内 容	チェック
1	交通法規に違反することは、公務員として信用を傷つける行為であることを十分理解している。	
2	教員運転をしたら、取り返しがつかないこと、いくら練習しても危険は取り戻さないことを十分理解している。	
3	たとえ一日であっても、飲酒したら絶対に車両を運転しないという強い意志を持っている。	
4	深夜まで飲酒したときは、翌日、車両を運転しないようにしている。	
5	速度超過による交通事故は、重大事故につながることを十分理解している。	
6	速度超過等の交通違反は、重大事故につながることを十分理解している。	
7	自分の運転技術を過信していない。	
8	交通事故の危険性や悲惨さについて十分理解している。	
9	率先して交通ルールを守り、安全運転に努めている。	
10	運転中に携帯電話をかけた時、携帯電話が鳴っても取ったりすることはない。	



港祭舟こぎ競争への参加



各字での敬老会への参加

### 今後の課題

- 同僚性を更に高めて、お互いに向上心を持ち積極的に意見を出し合う教職員集団を作っていくたい。
- 来年度は、学期1回、各学年部が企画・運営の主となるサービスに係る研修を計画したい。